

2023 年 1 月 27 日

報道関係者各位

慶應義塾

慶應義塾高等学校

2023 年第 95 回記念選抜高等学校野球大会への出場決定

本日、掲題のとおり、第 95 回記念選抜高等学校野球大会の出場校に選ばれました。
慶應義塾高等学校野球部に関する情報を次の通りお知らせいたします。

1. これまでの出場記録

(1) 選抜高等学校野球大会（春）

5 年ぶり 10 回目の出場

1929 年	第 6 回大会	慶應義塾商工学校（以下、慶應義塾商工）（東京）
1937 年	第 14 回大会	慶應義塾商工（東京）
1947 年	第 19 回大会	慶應義塾普通部（東京） 慶應義塾商工（東京）
1949 年	第 21 回大会	慶應義塾第二高等学校（東京）
1960 年	第 32 回大会	慶應義塾高等学校（以下慶應義塾）（神奈川）
2005 年	第 77 回大会	慶應義塾（神奈川）
2008 年	第 80 回大会	慶應義塾（神奈川）
2009 年	第 81 回大会	慶應義塾（神奈川）
2018 年	第 90 回大会	慶應義塾（神奈川）

(2) 全国高等学校野球選手権大会（夏）

18 回の出場

第 2 回大会では優勝

1916 年	第 2 回大会	慶應義塾普通部（東京）
1917 年	第 3 回大会	慶應義塾普通部（東京）
1918 年	第 4 回大会	慶應義塾普通部（東京）
1919 年	第 5 回大会	慶應義塾普通部（東京）
1920 年	第 6 回大会	慶應義塾普通部（東京）
1921 年	第 7 回大会	慶應義塾普通部（東京）
1929 年	第 15 回大会	慶應義塾商工（東京）
1930 年	第 16 回大会	慶應義塾普通部（東京）
1933 年	第 19 回大会	慶應義塾商工（東京）
1937 年	第 23 回大会	慶應義塾商工（東京）

1947 年	第 29 回大会	慶應義塾商工（東京）
1948 年	第 30 回大会	慶應義塾（東京）
1949 年	第 31 回大会	慶應義塾（東京）
1953 年	第 35 回大会	慶應義塾（神奈川）
1956 年	第 38 回大会	慶應義塾（神奈川）
1962 年	第 44 回大会	慶應義塾（神奈川）
2008 年	第 90 回大会	慶應義塾（神奈川）
2018 年	第 100 回大会	慶應義塾（神奈川）

(3) 有名輩出選手等（プロ野球・社会人野球に多数輩出）

赤木健一外野手（国鉄）、渡辺泰輔投手（南海）、佐藤友亮外野手（西武）、白村明弘外野手（日本ハム）、山本泰寛内野手（阪神タイガース）、矢崎拓也投手（広島カープ）、植田将太捕手（千葉ロッテマリーンズ）、津留崎大成投手（東北楽天ゴールデンイーグルス）、柳町達外野手（福岡ソフトバンクホークス）、木澤尚文投手（東京ヤクルトスワローズ）、正木智也外野手（福岡ソフトバンクホークス）、山崎鍊内野手（ENEOS）、瀬戸西純内野手（ENEOS）、森田晃介投手（JFE 東日本）、故牧野直隆（元日本高野連会長）他

2. 慶應義塾高等学校について

- ・1888 年 野球部創部（三田ベースボール倶楽部結成。慶應義塾高等学校野球部の起源）
- ・1948 年 開設（慶應義塾第一高等学校・第二高等学校として開校。翌年に両校を統合し、慶應義塾高等学校と改称）

3. 2022 年度秋の戦績

- ・2022 年 9 月 令和 4 年度神奈川県高等学校野球秋季大会 準優勝
- ・2022 年 10 月 第 75 回秋季関東地区高等学校野球大会 ベスト 4

4. 記者会見登壇者

阿久澤 武史（あくざわ・たけし）（慶應義塾高等学校長）
 赤松 衡樹（あかまつ・ひろき）（野球部長、慶應義塾高等学校教諭）
 森林 貴彦（もりばやし・たかひこ）（野球部監督、慶應義塾幼稚舎教諭）
 大村 晃澄（おおむら・そらと）（野球部主将）

5. 出場決定を受けてのコメント

阿久澤 武史（慶應義塾高等学校長）

第 95 回記念選抜高等学校野球大会に本校野球部を選出していただき、大変光栄なことと心より感謝を申し上げます。神奈川と関東の強豪校と切磋琢磨しながら、部員諸君は見事に甲子園という夢の舞台への道を拓いてくれました。5 年ぶりの出場となります。今回も関係者全員で力をあわせ、慶應義塾の伝統の応援を満員のアルプススタンドでお見せしたいと思います。応援いただく皆様のご期待に応えられるよう、部員諸君には新たな気持ちで第一歩を踏み出してほしいと思っています。

赤松 衡樹（野球部長、慶應義塾高等学校教諭）

第95回記念選抜高等学校野球大会に選出していただいたこと、大変光栄に思い感謝いたします。5年ぶりの甲子園の舞台ということになりますが、現役部員たちだけでなく、コロナ禍の非常に厳しい状況下でも必死に耐えながらバトンを繋いでくれた先輩たちと共に勝ち取った甲子園です。応援してくださるすべての皆様と喜びを分かち合えるように、選手たちには開幕までに残された時間を大切に過ごし、大舞台でEnjoy Baseballを体現してくれることを期待しています。

森林 貴彦（野球部監督、慶應義塾幼稚舎教諭）

5年ぶりに甲子園という舞台に立ち、大きく成長する機会を頂けたことに感謝します。そして日本一に挑戦する権利を得たことを嬉しく思います。部員とスタッフだけでなく、保護者、OB、関係者、応援してくださる全ての皆様の強い思いが結実したものと感じています。まだまだ完成形には程遠い発展途上のチームですが、大会まで約2カ月あります。大舞台で戦い抜く実力と自信をつけるために、これから最善の準備を積み重ね、日々成長していきます。

大村 昊澄（野球部主将、慶應義塾高等学校2年）

秋季大会は野球部への応援ありがとうございました。甲子園では皆様に夢や希望をお届けできるよう、全力でプレーして参ります。高校野球の常識を覆すため、新しい歴史を作るために日本一になります。応援よろしくお願いします。

・本リリースの配信元

慶應義塾広報室（若原・澤野）

TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

Email：m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>